

7月の 広島中央保健生活協同組合だより

けんこう

2018年7月号

2018年5月31日現在
組合員数 29,644人
出資金 12億124万円
発行責任者 生協広報委員会

No.542

広島中央保健生活協同組合

編集部連絡先

〒733-0031

広島市西区観音町16-19

電話(082)-532-1264

FAX(082)-532-1267

アドレス

<http://www.hch.coop/>

Facebook

「広島中央保健生活協同組合」



支部総会公開されました

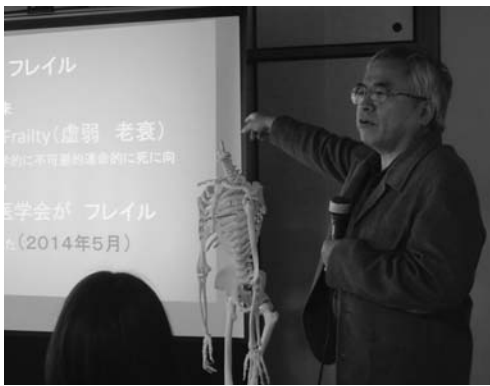
36名の参加で 大盛況の支部総会

己斐支部

5月20日(日)己斐西町集会所にて支部総会が開催されました。参加者は会場いっぱいの36名となりました。

総会記念企画は、福島生協病院整形外科の杉本先生による「フレイル予防」のお話でした。ユーモアを交え分かりやすく説明して下さって、参加者からは、「腰痛が辛い」「足が弱ってきた」「長時間歩けない」など、切実な悩みが次々に出され、丁寧に質問に答えていただきました。

先生が紹介された「杖よりも転ばぬ先のスクワット」という川柳に、みなさんうなづいておられました。初め



て参加して下さった方もおられて、懇談・会食中には自己紹介で交流を深め、笑い声の絶えないにぎやかな支部総会となりました。

☆流行らせましょう

「杖よりも転ばぬ先のスクワット」

7年ぶりの支部総会

八幡東支部

4月21日(土)生協さえき病院5階にて今年の1月再建以来初の支部総会を10名の参加で開催しました。

総会では、今年度は健康や生活に役立つ勉強会、日帰り温泉バスハイクなどがやりたいと声が上がりました。また、第二部では安産亭徳丸氏の落語に続き、記念講演を「人生の終わり方」



と題しセレモニーアドバイザーの方に講演をしてもらいました。葬儀の裏話や、エンディングノートの手書きかたなど、関心が高く、質問も相次ぎました。

支部総会のあとは、近くの鉄板焼き屋で打ち上げ、交流を深めました。

掲示板

広島中央保健生活協同組合

子ども食堂 生協わくわくぱーてー

【日にち】7月14日(土)

【時間】10時30分～14時30分

【場所】いきいきプラザ3階和室



どなたでも参加できます。

お申し込みは

☎082-532-1264(組織部)まで

お米の寄付を観音天満支部のMさんからいただきました。ありがとうございました。

心の窓

広島市の安佐動物公園で、今風のイクメンパパを見かけました。若いお父さんの胸には、幼い女兒が抱っこ紐の中で眠っていました。

右手で男の子、左手で女の子としっかり手をつなぎ、ママは後からその様子をしながら幸せそうに歩いていました。なんともほほえましく感じました。

昭和40年代に子育てをした私には、想像も出来ない光景でした。多くの男性が会社から休暇をもらい、育児に関われる時代はもう目の前まできていると思うと、大変うれしく思っています。しかし現状は男性が育児のための時間を確保する育児休暇は、そう簡単ではないようです。

未来の宝を育てるためにも、両親が共に助け合って子育て出来る社会の仕組みがもっと充実すること、育児休暇をとって当たり前、という法整備が一日も早く出来ることを願っています。

私の息子夫婦が共働きなので、息子が買い物に行き料理を作り、子育てとイクメンパパを頑張っています。かく言う私も2歳と8歳の子守りをする、イクメンパパならぬイクシイです。

(おや・G)

保健生協の意義を再確認

東区北支部



4月23日(月)、戸坂福祉センターにて東区北支部総会が開催されました。参加者は22名でした。

古くからの組合員さんも参加され、生協に対する思いなど語らう場面も見られました。中でも、現役時代に市民病院の看護師として働いていた方からは「今、大きな病院に入院してもすぐに退院を迫られることを私たちはよく知っている。医療生協の存在は大切だと実感している。その医療生協をなくさないためにも組織拡大は重要です」との思いを語っていただきました。最後には安産亭徳丸さんと秋風亭小まゆさんの落語の競演を聴き楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

団地の課題を保健生協でも考えています

五月が丘支部

4月27日(金)に、五月が丘5丁目集会所にて、五月が丘支部総会を行いました。いつもはバザーなどで使われる会場が、31人の参加者でいっぱいになりました。

総会が始まると、支えあい、助け合いの活動について質問が出ました。団地の高齢化が進む中で、独居の方の見守りなど、何か出来ることのないか、支部で検討出来たらとのご意見をいただきました。

お弁当を食べた後、福島生協病院のリハビリ科から講師を招いて、ラジオ体操講座を開きました。「意外と間違えているところがたくさんあった！」と驚きの声が上がっていました。わかりやすい指導が大変好評だったようです。



生協は近くて便利 役員も整いました!

都支部

5月13日(日)都支部総会があり、参加者は16名でした。前半の企画は、福島生協病院リハビリテーション科長にお越しいただき、転倒予防に役立つ体操を指導していただきました。

総会では、新しい役員体制が紹介され、これまでの副支部長2名の体制から、支部長1名、副支部長2名、会計1名(互選)となり支部の運営の強化が図られました。

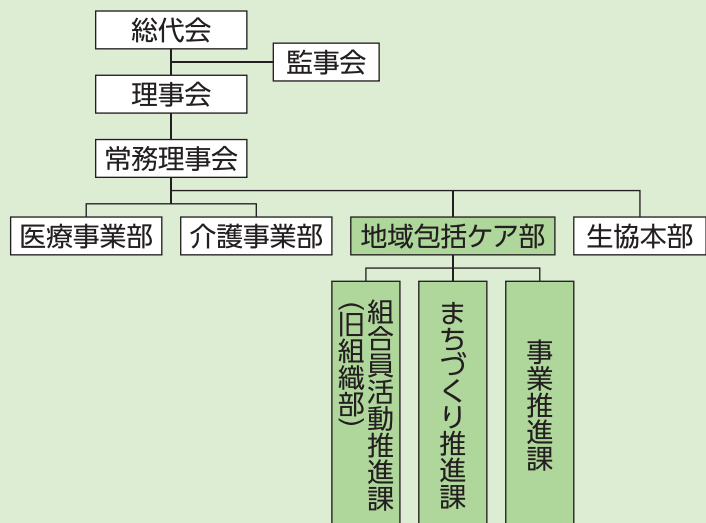
最後に担当理事より、仕事を辞めるとあちこちに出かけることも少なくなるが、生協の活動は楽しい企画や集える場所ができる。それが生協の

7月1日より新たに「地域包括ケア部」新設

組織部は「組合員活動推進課」に名称変更

広島中央保健生協では、昨年の総代会で「広島中央保健生協の地域包括ケア構想」を決定しました。国が地域包括ケアシステムの構築を謳い、医療福祉生協連でも、制度の拡充を求め運動することと同時に、行政や地域と連携しながら安心して暮らせるまちをつくるのが方針として掲げられ、組織部に求められる仕事も変化してきました。全国の他の医療福祉生協でも、「健康まちづくりセンター」「地域活動部」などに、「組織部」の名称を変更されることが多くなってきています。そうした中で、当生協でも7月より、生協本部から独立させて「地域包括ケア部」を新設することになりました。地域包括ケア部には、旧福島生協病院跡地活用を含む「事業推進課」、ケアマネジャーの経験者を配置し、地域の困りごとの解決に取り組む「まちづくり推進課」、そして、これまでの組織部が名称変更した「組合員活動推進課」の3つの課が配置されています。第6次長計「いのちが大切にされ、笑顔で安心して暮らし続けられるまちづくり」の推進に力いっぱい奮闘します。よろしくお願いします!

生協事業組織図より一部抜粋 2018年7月1日より



5月11日(金)中区北支部の総会が行われました。参加者は9名でした。

総会の前半、うたごえ企画として「たね工房」さんにお越しいただき、ギターとキーボードの演奏で、「ふるさと」や「みかんの花咲く丘」など、楽しいトークや曲当てクイズなどを折りませながら楽しいひと時を過ごしました。

第一部終了後の議案討議では、くらし、いのちまでが脅かされる今日の政治への怒りの発言や基町住宅跡地利用の運動を進めようなど、活発な討議が行われました。昨年度目標を達成することが出来な

基町住宅跡地問題と新班誕生

中区北支部

かった班づくりについて、「やると決めたらすすむに決めよう!班長はわたしがやるから!」と意欲的な発言があり、体操班(仮称)が近く結成の運びとなりそうです。



26支部の支部総会の参加者は521名、昨年より19名増えました。

いよいよ今年もけんこうチャレンジが7月からスタートします。広島県民の健康寿命を高めるためにも、当生協では4,000名参加目標達成に向けて活動を始めましょう。すでに、小学校・幼稚園訪問が始まっています。



「けんこうチャレンジ」古田台小学校を訪問!

5月24日(木)、隆杉理事、田方支部の山下支部長さんと組織部員で古田台小学校を訪問しました。

運動会の準備でお忙しい中、校長先生にお時間をいただき「けんこうチャレンジ」を紹介しました。小学校独自でも食育、体力アップ、握力アップなど様々な取り組みに力を入れておられるそうです。学校での健康づくりの取り組みは生活リズムを戻すために夏休み、冬休み明けにされることが多いとのことでした。夏休み期間中は「けんこうチャレンジ」の活用を考えると前向きなお返事をいただきました。



写真の撮り方教室、大盛況



5月30日(水)プロの写真家、藤岡亜弥さんを迎えての「写真の撮り方教室」を開催しました。藤岡さんは数々の賞を獲得され、「川はゆく」などの写真集も出版されています。

会場には44名の参加者がデジカメを持って集いました。

藤岡さんのお話は、時には聴衆の心をとらえ、笑いが沸き起こるほど盛り上がりました。

カメラが発明されて約170年、最初は1時間ほどカメラの前で静止して写していた時から日進月歩、いまや自動で調整し、一瞬のうちに連写できる便利ものとなりました。が、そういう中でも撮り方の心構えはあり、順光

と逆光の区別、被写体の背景はどうするか、集合写真を撮る際には少なくとも3回以上はシャッターを押し、デジカメならではの場での確認をすること。また、1人を撮る際にはそのモデルをその気にさせるのはどうするか、上手なコミュニケーションで、「いいですね」「きれいですね」と声をかけることも大事。また生き生きとした顔にするため目に光を入れる(キャッチアイ)の技も教えてもらえました。

参加者にカメラマンとモデルになってもらい、みんなの前で撮影、爆笑も拍手も起こり楽しくためになる教室となりました。

子育て広場 コープ 7月の予定

のびのびクラブ



日時 毎週水曜日 10時~12時

場所 生協けんこうプラザ5階

7月 「のびのび」行事

第1週 4日 わくわく絵本の世界

第2週 11日 リズム遊び

第3週 18日 ミニ講座お休み (広場開放のみ)

第4週 25日 お母さんと子どもの栄養について

※企画内容は都合により変更となる場合があります。



脳いきいき交流会



5月31日(木)に脳いきいき交流会が行われました。雨模様で心配していましたが、37名の参加で会場は満員になりました(^ ^)

会の始めに、脳いきいき班会ではかかせない生活習慣の振り返り『脳いきいき5か条』について、講師の沖田さんから改めて説明がありました。食・動・楽・休・知の項目を基準に生活を振り返ることで、認知症予防を意識した習慣を身に着けるといふものです。

現在脳いきいき班で活動されている方を中心に前に出てきていただいで、5か条のデモンストレーションをしてもらったところ、「いつも1分以内にできないのよ~」「ゲームばかりじゃなくて、振り返りせんとね」と、皆さんうなづかれていました。

その他にも、八幡東支部・美鈴が丘支部・安芸中央支部・己斐支部から、普段の班会の様子の報告をしてもらったり、己斐上支部のみなさんに脳いきいきゲームのデモンストレーショ

ンをしていただきました。

聞いたところによると、どの班でも好評なゲームは折り紙とババ抜きとのこと。そして、発表者のみなさんが口をそろえて言われていたのは、『自分たちで次回の内容を考えることが班が長続きするコツ』ということです。普段の生活の中で、「脳いきいき班でこの本が使えるかも!」などと考えることも、大事な認知症予防になるそうですよ。

各ブロックに定着してきた脳いきいき班会を、班づくり・班開催月間にどんどん広げていきましょう!






診療のごあんない



2018年6月現在です。急な医師の交代で変更もあり得ますので、ご了承ください。 ※前回から変更している部分は網掛けで表示しています。

(2018年7月から)

受付時間			月	火	水	木	金	土		
 福島生協病院 082-292-3171 (健診:082-292-3215)	午前	8:30~11:45 診察は9:00~ (予約は 8:30~12:00) 診察は9:00~	内科	大津	多比良	飯田	宇野	濱本	沼本	
				保手浜	神尾	宇野	宮庄	田中(千)	大学	
				藤原	宇野	田中(千)	神尾	高岡	交替	
				田中(千)	藤原(予約)	高岡(予約)	大津(予約)	藤原(予約)	神尾(第4週)	
				多比良(予約)	高岡(予約)	藤原(予約)	高岡(予約)	大津(予約)	交替(予約)	
			高岡(予約)	飯田(予約)	大津(予約)	多比良(予約)	多比良(予約)			
			8:30~11:00	健診	伊藤	桂田・佐藤	池本・桂田	佐々木・桑原	伊藤・宇野	伊藤・宇野
		8:30~11:45 診察は9:00~	外科	北口	田代	北口	北口	田代	田代	伊藤・宇野 9:30~受付 10:00~診察
			整形外科	長谷川	11:00まで杉本	11:00まで長谷川	長谷川	杉本	杉本	大学
				杉本(予約)			杉本(予約)	長谷川(予約)		
婦人科	大学(完全予約制)			大学(完全予約制)		大学(完全予約制)	大学(完全予約制)	完全予約制(第2・4週休診)		
眼科	高松		高松	高松	11:00まで高松	高松	高松			
	松浦		松浦	松浦	11:00まで松浦	松浦	松浦			
耳鼻咽喉科	川真田		川真田	川真田	川真田	川真田	川真田	川真田(第2・4・5週休診)		
皮膚科	大学					大学	大学			
泌尿器科		10:00~診察 大学			10:00~診察 大学		大学			
午後	13:30~16:30 診察は14:00~	内科	多比良(予約)	大津(予約)		藤原(予約)	高岡(ペースメーカー)			
			飯田(予約)	保手浜(予約)		叶(予約)	多比良(予約)			
	13:45~16:00 診察は14:00~	外科				原田				
		肛門科				田代				
13:45~16:45 診察は14:00~	眼科	高松				松浦				
16:30~18:00 診察は17:00~	耳鼻咽喉科	川真田	川真田	第2・4週 補聴器外来	川真田					
夜間	16:30~18:00 診察は17:00~	内科				藤原(予約・不定期)				
生協小児科ひろしま 082-532-1260	午前	8:30~11:30 診察は9:00~	吉野	吉野	吉野		吉野	12:00まで吉野 (第1・3・5週)		
	午後	13:00~14:00 14:30~16:30		予防接種		乳児健診	予防接種			
生協歯科ひろしま 082-291-1333	午前	8:30~11:30	今川	高橋	今川	高浜	今川	11:30まで交替		
			山本	平岡	高橋	松井	高橋			
			平岡	松井	松井	山本	平岡			
			高橋	高浜	山本	今川	山本			
			高浜		平岡		松井			
	午後	11:30~16:30	今川	高橋		高浜	今川			
			山本	今川		松井	高橋			
			清水	山本		高橋	高浜			
	夜間	16:30~19:30	松井	平岡		平岡				
			高橋	今川		今川	山本			
		松井	山本		高橋	高浜				
		平岡	高浜		平岡	松井				

予約は一般外来(初再診外来)を受けていただき、治療が必要と医師が判断した場合、専門医の予約を取って通院、治療していただくことになっています。

受付時間			月	火	水	木	金	土	
生協さえき病院 082-926-4511	午前	9:00~12:00	内科	黒川	福山	西村	叶	高内	高内
				沼本	荒井	佐藤	荒井	下原	交替
				長谷	岡田	長谷		長谷	服部10:30~(月2回)
				福山	重本	重本	福山	福山	
				交替	根本	南方	長谷	佐藤	交替
午後	15:00~17:00	内科	高内	重本・黒川	南方・佐藤		佐藤・黒川		
				14:00~17:00 伊藤					
夜間	17:00~18:30	整形外科	倉員			倉員			
生協さえき歯科 082-926-1148	午前	8:30~11:30 水曜は11:00まで	星	星	星	星	星	星	
			保子	保子	保子	保子	保子	保子	
			末井	福井	末井	福井	末井	末井	
	午後	13:30~17:00 水曜は14:00~	星	星16:00まで	星		星		
			保子	保子	保子		保子16:00まで		
			末井	末井16:00まで	末井		末井		
	夜間	17:00~19:30	福井	福井	福井		福井16:00まで		
			星			保子			
		末井				福井			

受付時間			月	火	水	木	金	土	
コープ五日市診療所 082-924-0608	午前	9:00~12:00	内科	佐々木	長谷	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木(第1・3週休診)
	午後	15:00~16:30	内科		佐々木	佐々木			
	夜間	17:00~18:30	内科	佐々木				佐々木	
草津診療所 082-272-8665	午前	9:00~12:00	内科	診療	診療	診療	診療	診療	第2・4週のみ診療
	午後	14:00~17:00 (月曜日のみ15:00~17:00)	内科	診療	診療	診療	診療	診療	
	夜間	17:00~18:00 (金曜日のみ18:30まで診療)	内科	診療		診療		診療	第2・4週のみ診療

わがまち **散歩** 真言宗 醍醐派 己斐山 浄心院 Vol.66

西区と佐伯区の間にはそびえる大茶臼山(413m)を西区の方に下ってくると、己斐上5丁目である。

5丁目に広電己斐団地、緑ヶ丘団地、日生団地などがつながっている。日生団地をぬけて暗い樹木の中を登って行く道をたどると浄心院に着く。

浄心院の境内も駐車場も深い森に囲まれていて、団地の近くと思えない。随分山奥のような感じである。

真言宗、己斐山、浄心院は、宗祖は弘法大師空海の法孫で京都総本山醍醐寺を開創された理源大師聖宝がお始めになったとの記述がなされた説明板が入口にあります。



真言宗 醍醐派 己斐山 浄心院
広島市西区己斐上5丁目990番

●己斐の火祭り 紫燈大護摩供・火生三昧 火渡り修行 厳修

毎年行われる火祭りは、今年は5月20日(日)に行われた。

薪と桧、杉の青葉を山のように積み重ね、火をつけ、炎がおさまってきたらその上を素足で渡るのです。山伏行者だけでなく参拝の人も希望する人は火渡りに参加する勇ましい宗教行事です。



職場 **探訪**

●福島生協病院リハビリテーション科

福島生協病院リハビリテーション(以下リハビリ)科は、理学療法士27名、作業療法士13名、言語聴覚士4名、助手3名の計47名体制で業務を行っています。

新病院からリハビリ科も三つの大きな業務変化がありました。一つ目は、回復期リハビリ病棟の立ち上げです。現在は、365日体制でリハビリを実施しています。二つ目は、地域包括ケア病床から病棟への移行です。この病棟でもリハビリ目的の入院が増えており、入院初日からリハビリ介入を行っています。三つめは、心大血管リハビリの開始です。火曜日と木曜日には、循環器医師・看護師・理学療法士(作業療法士)が共同し、集団療法を実施しています。

平成18年度の診療報酬改定から、理学療法・作業療法・言語聴覚療法を実施するための疾患、期限が決められました。医療でのリハビリは、急性期から回復期に限定をされてきているのが現状です。世間的にも、まだまだ「リハビリ=機能訓練」の認知が高く、この考えがその方のリハビリを進めていくうえで障害となることもあります。リハビリ科とってはありますが、私たちはリハビリのほんの少しの役割しか担えません。私たちが行っている業務が、その方のリハビリの手助けになるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

平均年齢27歳!若いパワーで福島生協病院を盛り上げていきます。



私の **趣味・特技・生きがい**

♥ 仕事も趣味も全力投球!! ♥

東区北支部 秋風亭小まゆ、こと 兼森 訓子さん

いつも笑顔で大きな声、見るからにエネルギーがほとばしる兼森さん。

昨年の東区北支部の総代会で安産亭徳丸氏の落語を聞き、なんと自分もやりたいと落語教室に通い始めたのが66歳の夏、そして今年の支部総会では徳丸氏との落語の競演が実現しました。その行動がエネルギーでチャレンジ精神に溢れています。

30歳の時のお母さまの死をきっかけに、人生を楽しまないとこれからは悲しいことだらけだと気づき、明るくものごとを考えるよう意識されたそうです。「つらいことはその日で終わり」といつも前向きに生きてこれま

した。公立保育園の保育士さんとして長年働き、園長も勤められました。退職後も福祉関係でボランティア活動。精一杯働かたわら、趣味も多彩で、芝居に紙粘土制作、演劇鑑賞、落語鑑賞、そして鑑賞するだけでは物足らず、自らが演じることに。小まゆさんの語りはお腹の底から声が出て、表情も豊か、お客さんを引き込みます。

平和や社会保障に対する思いも熱く、3000万署名を始め、社会保障のための署名もいろんなところで呼びかけます。

どこまでも明るい小まゆさんの活躍が期待されます。



組合員の輪

調理にも参加 住民と交流が広がるわくわくパーティー



5月12日(土)に今月もわくわくパーティーが開催されました。今回は子ども11名、保護者3名、ボランティア11名の参加でした。前回参加して

くれた子どもたちの参加もあり、最初から元気いっぱい。カレー作りを率先してお手伝いしたり、お絵かきしたり、折り紙、オセロ、けん玉などなど。女の子が多かったせいか、これでもおとなしめ?

カレーを食べた後は、また、広い和室で鬼ごっこなどして、あつという間の3時間半でした。

ボランティアの広がりも人づてに少しずつ広がり、元教師の方から今後は、学習支援も取り入れたいなどの話が出されました。子どもたちに連続して参加してもらったり、わくわくパーティーが居場所として定着するように続けていきたいと、ボランティアさんの話が盛り上がりました。お米・野菜のカンパ大募集!小学生とのあそびボランティア(体力勝負!!)大募集!!

健やかに 脳いきいき班と百歳体操 南区東支部・霞住宅

毎月第2月曜日の午前、南区のとある集合住宅の集会所で「脳いきいき班」が開催されています。ここでは、塗り絵や箱作り、全身を使ったゲームなど内容が大変多彩です。

5月29日(火)より、脳いきいき班とは別に、同じ集会所を利用していきいき百歳体操を毎週行うことも決定しました。そのため、5月の班会時には立ち上げの説明として包括支援センターの方

が来られました。いきいき百歳体操は、集合住宅の管理組合と共同で行われます。住人同士のつながりがほとんどなく、管理組合の方が悩んでいたところ、生協と手を取って開催していくことが決まったそうです。横のつながりが生まれ、活性化することを願っています。



福島支部で平和学習 きょうちくとう班

きょうちくとう班は5月15日(火)平和学習で、広島県立第2中学校(現観音小学校)に行きました。

被爆体験伝承者の小西久子さんに、原爆被害を受けた観音小学校の中を案内していただき説明もしていただきました。

観音小学校の門を入ると西側の壁が原爆を受けた当時のまま残っていました。小学校の中には大正11年に広島県立第2中学校建立と書かれていました。

各地より勉強するために来た子どもたちは学徒動員をしていて被爆したくさんの子どもが亡くなっています。

観音小学校にはプールがあります。被爆に耐えたプールは県内初の日本水泳連盟公認プールでした。50mあったプールは児童用として現在は25mになっています。

小学校のグラウンドを通り奥には原子爆弾に焼かれ傷つきながらふたたび芽が出、成長した木、被爆の木「クロガネモチ」が移植



されています。小学校の裏の観音児童館の前には、被爆の木「クスノキ」もありました。

私達が住んでいる身近な所にも被爆の跡が沢山あります。平和学習をして戦争のない平和の大切さがわかりました。

おたより募集

川柳、俳句、短歌

9月号の川柳のお題は「名月」(締め切りは7月末)です。自由演題でも結構です。その他、「私の家族(ペット)」を募集しています。写真と簡単な紹介文を編集部までお送りください。

けんこう読者投稿企画

「憲法を語る」…憲法を守るのは当生協の取り組み方針です。皆様が身近に憲法を感じる、思うことなど寄稿をお願いします。

「百歳万歳」…百歳に近い元気な組合員を紹介したいと思えます。

「わたしの趣味、特技、生きがい」…こんな凄い組合員がいるよ、という紹介があれば、ご連絡ください。もちろんご自分のことでも結構です。

「わたしの健康法」…健康のために心がけていること、やっていることなど投稿をお待ちしています。

「わたしの感動した〇〇〇〇」…感動した本、映画、漫画、スポーツなどの記事も募集します。

その他、身の回りのことや最近思うことなどなんでも結構です。

文字数 原稿用紙1枚程度(約400字)

応募方法

おたよりは、お手紙、ハガキ、ファックス、電子メールにてお寄せください。お名前、ご住所、電話番号をお忘れなく。掲載させていただいた方の中から、抽選で5名の方に図書カードをプレゼント。たくさんのおたよりお待ちしております。当選は発送をもって代えさせていただきます。

宛先

733-0031 広島市西区観音町16-19-4F
広島中央保健生協 組織部 けんこう編集係
E-mail:soshikibu@hch.coop
FAX(082)-532-1267

俳句・山柳

へお題「ビール」

●モリカケをビールのつまみ苦みだけ / おみなえし

●よく冷えた麦酒で今日をしめくくり / アベ・マリア

●ビールつぐ二十歳の孫が眩しくて / スイートビー

●賑やかにビール片手に鯉談義 / コスモス

●大ジョッキ水はこれ程飲めぬのに / 花子

へ自由句

●忘れじと唇に記して今日も行く / TOKIKO



*採用された方には図書カードをプレゼントします。ぜひご住所をお知らせくださいませ。 広報委員会

理事会より

- 4月の経営結果は、法人全体では収益不足と費用超過が重なり剰余予算に1,300万円不足するという厳しい年度スタートとなりました。「生協くさつ24」と「訪問看護ステーションコープはつかいち」が剰余予算を達成し、介護事業全体でも剰余予算達成となりました。
- 広島県より、当生協が「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」の宣言事業所と認められました。生協けんこうプラザの1階エレベーター前に、のぼり旗を掲げています。